

既知感覚の想起による意思決定の支援

株式会社野村総合研究所

田中和広

本発表の目的

▶ 話題提供

- ▶ 既知感覚の想起が仕掛けとなり得るのか

▶ 事例収集

- ▶ 既知感覚を想起する事例
- ▶ 意思決定に既知感覚の想起を活用できる事例

皆さんのスマホやPCに入っている
ご自身の写真を遡って見ながら、
発表を聞いてください



既知感覚の想起とは？



既知感覚の想起とは

▶ 過去に経験した感覚を想起すること

▶ 感覚

- ▶ 視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚
- ▶ 温覚、冷覚、痛覚、圧覚、食感
- ▶ 内臓感覚、平衡感覚、など



既知感覚の想起とは

▶ 例)

- ▶ 新鮮な刺身の美味しさ、歯ごたえ、満腹感
- ▶ コンサート、ライブを観た時の音、興奮
- ▶ 古民家の囲炉裏で燃える薪の匂い



既知感覚の想起とは

- ▶ その感覚を感じさせる刺激を今受けていないにも関わらず、過去の経験を想起させるトリガによって、今感じているように感じる
- ▶ 重要なことは、体験した事実の想起ではなく、当時の感覚が現実感を伴って再現すること

風に身体が押し戻される
感覚がよみがえる



過去の経験を想起させるトリガ（写真など）



既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C



既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C

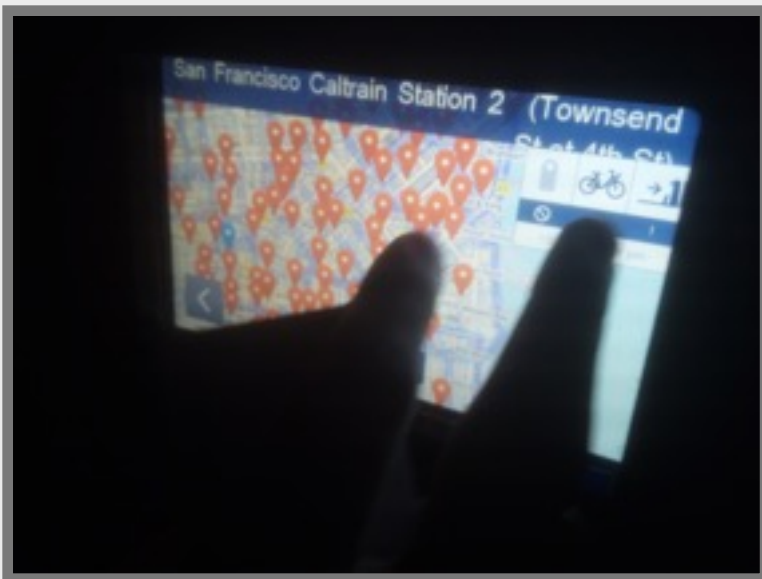


21°C
2016/9/25



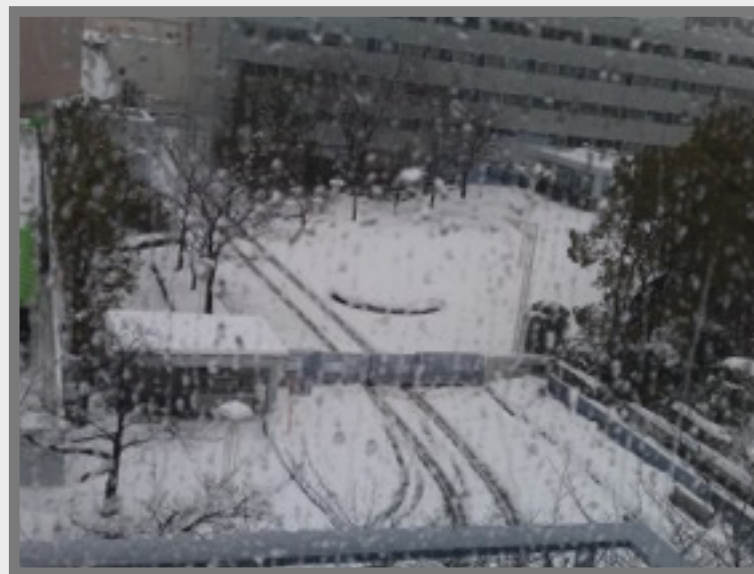
既知感覚を想起させるトリガとは

- ▶ 感覚まで記憶している出来事は少ない
 - ▶ 出来事自体は覚えていても感覚は覚えていない
 - ▶ 既知感覚を想起させられるトリガは貴重
- ▶ 受けた感覚自体または出来事に対して強く印象に残っている場合、感覚を覚えている可能性がある
 - ▶ 強い喜怒哀楽、荒れた天気、特別なイベント



既知感覚を想起させるトリガとは

- ▶ 想起される感覚が正しいとは限らない
 - ▶ 古い感覚に関する記憶は、忘却するだけでなく、記憶は変容するため、感覚が過剰or過少されている可能性がある
 - ▶ 数値だけでトリガを選出しても、誤った意思決定に導く可能性がある



既知感覚を想起させるトリガとは

- ▶ 既知感覚の記憶は鮮度が重要
 - ▶ 最近の出来事は比較的記憶に残っている
- ▶ 感受性の豊かさや刺激に対する敏感さの違い
 - ▶ 感覚を記憶する時点で人によって差がある
 - ▶ 同じ体験をしていても感じ方が異なる



既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C



既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C

数値データ



21°C

2016/9/25



既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C

数値データ

21°C

2016/9/25



既知感覚を想起させるトリガ

既知感覚の想起による意思決定

明日の天気



21°C

数値データ

21°C

2016/9/25



記憶の中にある
ある既知感覚



既知感覚を想起させるトリガ

今後の研究の発展に向けて

- ▶ **仕掛学と同様に事例収集と体系化が必要**
 - ▶ **本研究の有用性を理解してもらうためには、聴講者の皆さんが、自身の実体験に基づいて既知感覚の想起を理解して頂くことが最も重要**
 - ▶ **既知感覚が想起される事例を収集し、体系化することで、既知感覚を想起させるトリガに必要な要素を精査することが必要**

まとめ

- ▶ **目的：既知感覚の想起による意思決定の支援**
 - ▶ **既知感覚を想起できるトリガの整理**
 - ▶ **例）舞台を見た感動を想起させるtwitterの投稿**
 - ▶ **システムで扱える過去を想起させるトリガや既知感覚まで想起させるトリガの特徴について**
 - ▶ **既知感覚を活用できる日常の意思決定の事例収集**
 - ▶ **例）食事を決める際に、過去の味覚を参考にする**